

議題 1 第 2 回幹事会以降の進捗報告について

【瀋陽市関係】

1 会員企業からの情報提供

○ 2012年12月20日（木） 会員企業にヒアリング

○ 中国の状況について

- ・ 中国では歴史的背景を踏まえなければいけない。根深い反日感情は現在でもあり、特にエリアと日中間で歴史的な事件が起こった日に注意する必要がある。旧満州は難しいエリアと認識した方がよい。全体感とエリアの特徴を両方捉えることが必要である。
- ・ 尖閣問題への中国国民の反発というのは、主に貧困層であり、富裕層は日本と貿易関係を持っていたりして、尖閣に対する日本の態度には反対だが、日本との関係は壊したくない、と思っている。中国では非常に格差が大きく、社会に不満が蓄積している。
- ・ 欧州危機は中国の輸出産業にも打撃を与え、特に華南では人員解雇も多く行われたのが尖閣問題発生前の状況であり、尖閣がなくても不安定な状況にあった。
- ・ 11月の共産党大会ではトップが交代する状況であったことから、体制移行のためには社会安定が必要であった。そういう状況の中で、中国政府としても民衆の不満が爆発している状況で尖閣問題を抑えに入れず、デモ・暴動を容認せざるを得なかった状況にある。
- ・ 党大会後、全国人民代表大会が3月にあり、これをもって権力の移行が完了し、社会がコントロールされる状況になる。

○ 瀋陽へのミッション団派遣について

次のとおり、現状では不明確な状況が多すぎて、仮に現地を訪問しても、先方が何も判断できない状況なのではないか。全人代も終わった2013年4月以降に訪問することをお勧めする。

- ① 日本との友好的な関係を表に出すことに対する世論の反応が厳しいこと。
- ② 党大会後の地方の体制がまだ決まっていないこと。
- ③ 習近平体制移行後、中央政府の経済政策がまだ出ていないこと。
- ④ 日本の政権交代により、日本政府の姿勢、それに対する中国政府の姿勢が不明であること。

2 瀋陽市への情報提供

○ 2013年1月31日（木） 瀋陽市環境保護局蔣副局長と面談

（川崎市）

- ・ 上下水道分野における国際展開とかわさき水ビジネスネットワークの概要について説明

（瀋陽市）

- ・ 川崎市の上下水道の技術は高く、水分野でも交流が始まったことは評価している。環境分野のように水分野も今後の交流の柱になったらよいと思う。
- ・ 国レベルではいろいろあるが、自治体間の交流は続けた方がよい。
- ・ 瀋陽市の污水や水道に関し、合作が必要になる事項をリストアップし、それを提示して合作のニーズが出てくれば、それを中心に進めるのがよいのではないか。駐日本経貿代表処とも連携してほしい。

○ 2月以降、来年度の技術交流に向けて瀋陽水務集団に準備を打診中

【ダナン市関係】

1 川崎国際環境技術展におけるベトナム・ダナン市セミナーの開催結果

○ 日 時 2013年2月1日（金）15：30～16：30

○ 出席者 ダナン市外務局ダオ国際協力部長
かわさき水ビジネスネットワーク会員企業4社
川崎市総務局国際施策調整室長、川崎市上下水道局経営管理部長ほか

○ セミナーの概要

- ・ ダナン市の概要（ダオ部長）
- ・ 川崎市の上下水道分野の国際展開とかわさき水ビジネスネットワークの概要（川崎市上下水道局・かわBizネット事務局）
- ・ かわBizネット会員企業プレゼンテーション（3社）

2 ダナン市と川崎市との関係構築

○ 川崎市上下水道事業管理者表敬訪問（2月1日（金）13：30～14：00）

ダナン市のダオ部長が川崎市平岡上下水道事業管理者を表敬訪問、ダナン市の水環境に関し懇談、ダナン市では経済発展に伴い、上下水道の需要が高まっているほか、ダナン市は環境都市を目指しており、日本企業の優れた技術、製品に期待している旨、述べた。

○ 入江崎水処理センター視察（2月2日（土）13：30～15：00）

ダオ部長が環境技術展のエクスカージョンの一環として入江崎水処理センターを視察し、川崎市の下水処理技術を説明。高度処理を実施している処理水の水質の良さに大いに関心を示した。



【クィーンズランド州関係】

◆ かわさき水ビジネスネットワーク 水ビジネスニーズ調査の実施結果

○ 日 時 2013年2月4日（月）～8日（金）

○ 参加者 かわさき水ビジネスネットワーク会員企業2社

川崎市上下水道局経営企画課担当係長

（公財）川崎市産業振興財団新産業振興課連携推進係長

* 本件は川崎市経済労働局ミッション団と合同開催したため、その他市内企業3社、川崎市経済労働局国際経済推進室長、（公財）川崎市産業振興財団が参加

* 現地ではクィーンズランド州政府、ブリスベン市役所、在ブリスベン日本国総領事館、クィーンズランド日本商工会議所等が訪問団の受け入れに協力

○ ニーズ調査の概要

別添のとおり（別途報告のため省略）

【地域特性を考慮した分散型システム分科会関係】

◆ 地域特性を考慮した分散型システムセミナー開催概要

○ 日時

2013年2月15日（金） 15:00～17:00

○ 場所

明治安田生命ビル2階第1会議室

○ 出席者

会員企業：アズビル(株)、(株)オスモ、サンユレック(株)、須藤工業(株)、帝人(株)、
テスコ(株)、(株)東芝、(株)日水コン、日本原料(株)、日本電気(株)、
日本ベーシック(株)、(株)みずほ銀行、(株)三井住友銀行、(株)安川電機、
八千代エンジニアリング(株) 15社

協力団体：(独) 国際協力機構、(公財) 川崎市産業振興財団

○ 次第

- ・ セミナー趣旨説明 かわBizネット事務局
- ・ 分散型システムに活用可能なJICAの支援メニューについて
(独) 国際協力機構民間連携室
- ・ かわBizネット会員企業プレゼンテーション
帝人(株)、日本原料(株)、日本ベーシック(株)
- ・ クィーンズランド州現地調査報告～分散型システムの現状について～
かわBizネット事務局

【外務省補正予算関係】

- 別添資料参照（応募開始のため省略）

議題2 かわビジネスネット会員企業の意向調査の結果報告について

○ 2012年11月27日、会員企業への意向調査を実施

会員企業 51 社中 40 社が回答

○ 調査結果について、次の3つの目的から整理

- ① 地域別の意向の偏りを確認し、優先順位をつけるかどうかを確認するため。
- ② 今後、より絞った意向調査を行うかどうかを確認するため。
- ③ 各社が対象国・地域で具体的に把握したい情報（質問3）から、今後かわビジネスネットで行っていくか、行うことができるかを確認するため。

○ 調査結果

別添のとおり

議題3 かわBizネットや幹事会・会員企業・川崎市の役割の整理について

1 かわBizネットの位置付けと設置の狙い

- 「プラットフォーム」としての役割：民間企業による国際的な水ビジネスの活性化を促進するとともに、民間企業がかわBizネットを「活用」して具体的な案件組成を目指すこと。
- 川崎市による民間ビジネスの支援的機能の発揮：行政として果たすべき機能を最大限発揮し、民間企業の国際的な水ビジネスの取引推進に向けた支援を行うこと。

2 川崎市の役割

(1) 川崎市の上下水道分野における国際展開の基本目標

■「国際展開の推進による世界の水環境改善への貢献」

(2) 基本目標を達成するための川崎市の役割と基本的な考え方

- 案件組成時の側面・後方支援的な立場としての関与
かわBizネットを通じて何らかの形で事業化していく際に、行政の特性を活かし案件組成に向けた側面、後方支援を実施する。
- 行政としての強みを発揮した支援
行政として強みを発揮できる部分について支援し、案件具体化の確度を上げる
- * 会員企業間のビジネスのみに固執することなく、必要に応じて会員企業以外の事業者の活用も視野に入れ、プラットフォームであるかわBizネットを「活用」した幅広い案件形成に取り組む。

3 幹事会の役割

- かわBizネット全体の見地から活動を企画し、これまで幹事会社各社が培ってきた実績・ノウハウ等を基にかわBizネットに係る活動全般に対してアドバイスを行う役割を担う。
- 具体的には、ニーズ調査や分野別プラットフォームの設置等、民間企業主導によるかわBizネットを活用した水ビジネスの活性化に向けて、場や機会の提供等を行う。

4 PDCA サイクルに基づくかわBizネットメンバーの役割の整理

Plan と Check の役割を幹事会が担い、Do と Action は会員企業と川崎市が担うことを前提とした行動様式を趣旨とする。

	活動内容	主たる担い手	活動事例
Plan	かわBizネット活動の企画	幹事会	対象国・地域ごとの進捗状況や機会に応じて、セミナー、ミッション団、分科会設置等の活動を企画
Do	個別企画の準備（計画） 個別企画の実施（実行段階）	事務局（川崎市） 会員（幹事会社、川崎市含む。）	セミナー等の開催に向けたロジ＝事務局 セミナー・ミッション団への参加＝会員企業
Check	進捗の確認と必要に応じた修正	幹事会	【セミナー開催後も以後の進展がないケース等】 →方向性の修正又は新たな企画の立案（水ビジネスの実績を活用）
Action	修正又は新たな企画の準備	事務局（川崎市） 会員（幹事企業、川崎市含む。）	コーディネートの実施、意向調査の深掘り等

- 「提供された情報をどのように取り扱うか」は、Do（実行）、Action（改善）に分類されるものであり、幹事会の主たる役割ではない。
- 幹事会は、情報提供による案件形成が進むような Do までいかにして持っていくか、ということを経営で Plan（計画）することを主たる役割とする。
- 実際の Do（個別企画実施のための情報提供）は、会員企業や（会員としての）川崎市が担う。その後の状況を事務局が幹事会に報告し、幹事会が Check（検証）して、以後の対応を判断する。適宜修正を施し新たな企画を策定し、Action（修正を踏まえた情報の活用やその他の方法の検討）を再度アプローチを変えて実施し、案件形成につなげていく。
- 上記を繰り返し行うことで、かわBizネット全体の活動の活発化、かわBizネットを通じた水ビジネスの促進を図っていく。

議題4 当面の活動（2013年度末まで）について

議題1から3までを踏まえ、当面の活動方針を検討したい。

主な論点は次のとおり。

- キーンズランド州のニーズ調査後の進め方について
- 地域特性を考慮した分散型システム分科会の立上げやセミナー後の進め方について
- 瀋陽市の進め方について
- ベトナム関係の進め方について

検討を進める上で、前提となるイベント、目標等は次のとおり。

- ① 次回幹事会は5月頃で、議題（案）としては、総会の実施内容（活動計画の提示、総会の次第等）を想定
- ② 総会実施の目安は、発足から約1年経過する7月後半を想定
- ③ 総会以降は、各地域の進捗状況にもよるが、2014年度のFS応募に向けてどのように準備していくか、というところが大きなテーマになってくると考えられる。
- ④ 2012年度の外務省補正予算で水ビジネス関連予算がつくとの情報があるため、案件によっては2014年度まで待たずに随時応募できる可能性も出てきている。

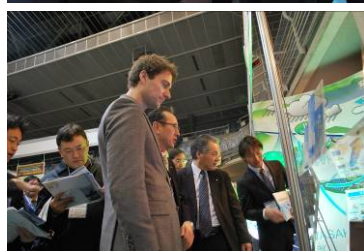
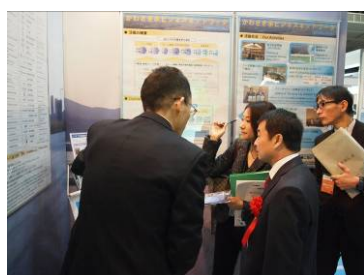
議題5 その他

かわBizネット 川崎国際環境技術展2013への出展について

平成25年2月1日（金）～2日（土）に、川崎市とどろきアリーナにおいて開催された「川崎国際環境技術展2013」に、かわさき水ビジネスネットワーク（かわBizネット）のブースを出展しました。

同展示会は、これまでの川崎の環境への取り組みや、国内外の企業の有する優れた環境技術等の情報を発信し、ビジネスマッチングの場を提供することで、環境分野での産業交流、技術移転による国際貢献の推進を目的としており、国内外から15,200人が訪れました。

かわBizネットのブースには、国内からの多数の来場者のほか、オーストラリア、中国、ベトナム、ラオスなどの行政関係者や企業の方々が訪れ、設立の趣旨や会員一覧などかわBizネットの概要、設立後現在までの取組をパネルで説明するとともに、希望いただいた会員企業のパンフレットを掲示し、かわBizネットや会員企業に関する情報発信や意見交換を行いました。



かわBizネットブース

外国人来場者への説明